

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年1月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社カインス

コード番号 4556 URL <http://www.kainos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上地史朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 黒谷理

TEL 03-3816-4123

四半期報告書提出予定日 平成27年2月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	4,167	△3.0	314	23.7	319	28.4	203	24.5
26年3月期第3四半期	4,295	8.4	253	43.8	249	45.8	163	58.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	45.61	—
26年3月期第3四半期	36.65	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%		円 銭	%
27年3月期第3四半期	6,196		3,254	52.5		731.23	
26年3月期	6,088		3,073	50.5		690.44	

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 3,254百万円 26年3月期 3,073百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
27年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				12.50	12.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期配当金の内訳 普通配当 7円50銭 記念配当 5円00銭(創業40周年記念配当)

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	3.4	330	3.7	315	0.3	200	3.6	44.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	4,558,860 株	26年3月期	4,558,860 株
27年3月期3Q	108,016 株	26年3月期	107,697 株
27年3月期3Q	4,451,072 株	26年3月期3Q	4,451,363 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

		頁
1	当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
	（1） 経営成績に関する説明 .....	1
	（2） 財政状態に関する説明 .....	1
	（3） 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2	サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
	（1） 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
	（2） 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3	継続企業の前提に関する重要事象等 .....	2
4	四半期財務諸表 .....	3
	（1） 四半期貸借対照表 .....	3
	（2） 四半期損益計算書 .....	4
	（3） 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	5
	（4） 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
	（継続企業の前提に関する注記） .....	6
	（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） .....	6
	（セグメント情報等） .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第 3 四半期累計期間における国内経済は、金融緩和等の経済政策効果による企業収益の増加及び雇用の拡大等回復基調にありましたが、平成 26 年 4 月の消費税率引き上げに伴う買い控え等の影響により景気減速の様相を示しはじめてまいりました。平成 26 年 11 月には、消費税率 10% への引き上げ延期等の対策が決定されましたが、欧州や新興国経済の財政懸念問題の影響もあり、今後のデフレ脱却等による景気回復につきましては、依然、不透明な状況にあります。

臨床検査薬業界におきましては、平成 26 年 11 月 25 日に改正薬事法（「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」）が施行され、これまで以上に、医薬品・医療機器の品質、有効性、安全性の確保にかかる国や都道府県、製造販売業者、医療関係者の責務が明確化されました。

市場におきましては、診療報酬改定等の医療費政策の実施や価格競争等、厳しい状況は継続しておりますが、当社では、収益確保に向けた対策を継続してまいりました。

このような環境の下、当第 3 四半期累計期間の売上高につきましては、41 億 6 千 7 百万円（前年同期比 3. 0% 減）となりました。

検査分野別で見ると、生化学分野におきましては、腎機能検査薬や肝機能検査薬が堅調に推移したことにより 13 億 1 千 5 百万円（前年同期比 0. 6% 減）となりました。

免疫分野におきましては、輸血検査薬が堅調に推移する一方、アレルギー診断薬が価格競争及び季節変動等の影響により 25 億 1 千 2 百万円（前年同期比 6. 2% 減）となりました。

また、その他の分野におきましては、遺伝子関連項目が堅調に推移したことにより 3 億 3 千 9 百万円（前年同期比 15. 7% 増）となりました。

この結果、営業利益につきましては、3 億 1 千 4 百万円（前年同期比 23. 7% 増）、経常利益につきましては、3 億 1 千 9 百万円（前年同期比 28. 4% 増）となり、四半期純利益につきましては、2 億 3 百万円（前年同期比 24. 5% 増）となりました。

検査分野別売上高

(単位：千円)

区 分	期 別	前第 3 四半期累計期間 〔自平成25年4月1日 至平成25年12月31日〕		当第 3 四半期累計期間 〔自平成26年4月1日 至平成26年12月31日〕	
		金 額	構成比	金 額	構成比
製 品	生化学的検査用試薬	1,251,057	29.1	1,243,953	29.8
	免疫血清学的検査用試薬	439,524	10.2	571,306	13.7
	そ の 他	271,332	6.3	331,879	8.0
	計	1,961,914	45.7	2,147,139	51.5
商 品	生化学的検査用試薬	71,940	1.7	71,266	1.7
	免疫血清学的検査用試薬	2,239,269	52.1	1,941,048	46.6
	そ の 他	22,422	0.5	8,109	0.2
	計	2,333,632	54.3	2,020,424	48.5
合 計	生化学的検査用試薬	1,322,997	30.8	1,315,220	31.6
	免疫血清学的検査用試薬	2,678,794	62.4	2,512,354	60.3
	そ の 他	293,755	6.8	339,988	8.2
	計	4,295,546	100.0	4,167,563	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。  
2. 数量については、取扱品目が多岐にわたり数量表示が困難なために記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第 3 四半期会計期間末における総資産の額は、61 億 9 千 6 百万円となり、前事業年度末と比べ 1 億 8 百万円の増加となりました。流動資産は、30 億 9 千万円となり、前事業年度末と比べ 1 億 8 百万円の増加となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が 1 千 9 百万円減少したものの、現金及び預金が 1 億 2 千 7 百万円、商品及び製品をはじめとした棚卸資産が 1 千万円増加したことによりです。固定資産は、31 億 5 百万円となり、前事業年度末と比べ微増となりました。その主な要因は、減価償却費 9 千 9 百万円を計上したものの、IT 及び事務用機器関連の取得及び笠間事業所内駐車場

整備などにより 9 千 2 百万円増加したことによります。

当第 3 四半期会計期間末における負債の額は、29 億 4 千 1 百万円となり、前事業年度末と比べ 7 千 3 百万円の減少となりました。その主な要因は、短期借入金が 1 億 9 千万円増加したものの、支払手形及び買掛金が 1 億 7 千 8 百万円及び長期借入金が 1 億円減少したことによります。

当第 3 四半期会計期間末における純資産の額は、32 億 5 千 4 百万円となり、前事業年度末と比べ 1 億 8 千 1 百万円の増加となりました。その主な要因は、配当金 3 千 3 百万円の支払いを行なった一方で、四半期純利益 2 億 3 百万円を計上したことによります。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第 3 四半期会計期間末における現金及び現金同等物 (以下「資金」という) の残高は、9 億 5 千万円となり、前事業年度末と比べ 1 億 2 千 7 百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、1 億 7 百万円の増加 (前年同期は 1 億 4 千 2 百万円の増加) となりました。その主な増加要因は、仕入債務の減少 1 億 7 千 9 百万円、法人税等の支払額 1 億 2 千 3 百万円、たな卸資産の増加 3 千 3 百万円などにより減少したものの、その一方で、税引前四半期純利益 3 億 1 千 1 百万円、減価償却費 9 千 9 百万円、売上債権の減少 1 千 9 百万円などによります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、1 千 1 百万円の支出 (前年同期は 2 千 5 百万円の支出) となりました。その主な支出要因は、有形固定資産の取得 6 百万円及び無形固定資産の取得 5 百万円などによります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、3 千万円の増加 (前年同期は 2 千 1 百万円の増加) となりました。その主な増加要因は、配当金の支払額 3 千 3 百万円などの支出があったものの、金融機関より調達した短期借入金が 9 千万円増加したことによります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の国内経済は、消費税率引き上げ延期等の対策が実施されましたが、欧州や新興国経済の財政懸念問題の影響もあり、今後の景気回復につきましては、依然、不透明な状況にあります。

また、臨床検査薬業界におきましても医療費抑制政策及び市場での価格競争等から、厳しい状況は継続するものと予想されます。

第 4 四半期以降につきましては、平成 26 年 5 月 9 日付「平成 26 年 3 月期決算短信〔日本基準〕 (非連結)」でお知らせしました通期業績の予想は、変更しておりません。

## 2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

#### 4. 四半期財務諸表

##### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,163,079	1,290,516
受取手形及び売掛金	1,318,590	1,298,789
商品及び製品	205,267	213,759
仕掛品	41,614	70,673
原材料及び貯蔵品	161,394	134,537
その他	95,460	85,250
貸倒引当金	△2,900	△2,900
流動資産合計	2,982,507	3,090,627
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	750,566	719,618
土地	1,851,453	1,851,453
その他（純額）	148,440	181,246
有形固定資産合計	2,750,460	2,752,317
無形固定資産	47,436	34,559
投資その他の資産	307,652	318,714
固定資産合計	3,105,549	3,105,591
資産合計	6,088,056	6,196,219
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,038,382	859,889
短期借入金	960,000	1,150,000
未払法人税等	73,254	51,087
賞与引当金	100,538	113,223
その他	350,956	366,717
流動負債合計	2,523,132	2,540,917
固定負債		
長期借入金	400,000	300,000
その他	91,645	100,719
固定負債合計	491,645	400,719
負債合計	3,014,777	2,941,637
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金	928,733	928,733
利益剰余金	1,381,269	1,550,900
自己株式	△90,510	△90,708
株主資本合計	3,050,905	3,220,339
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,373	34,242
評価・換算差額等合計	22,373	34,242
純資産合計	3,073,279	3,254,581
負債純資産合計	6,088,056	6,196,219

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	4,295,546	4,167,563
売上原価	2,842,205	2,624,354
売上総利益	1,453,341	1,543,208
販売費及び一般管理費	1,199,393	1,229,126
営業利益	253,947	314,082
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,025	6,344
為替差益	—	9,867
その他	10,655	3,668
営業外収益合計	16,680	19,881
営業外費用		
支払利息	13,743	11,256
手形売却損	799	778
為替差損	4,533	—
その他	2,532	2,206
営業外費用合計	21,608	14,241
経常利益	249,018	319,722
特別損失		
固定資産除却損	1,035	7,773
特別損失合計	1,035	7,773
税引前四半期純利益	247,983	311,948
法人税、住民税及び事業税	62,556	103,333
法人税等調整額	22,300	5,600
法人税等合計	84,856	108,933
四半期純利益	163,126	203,014

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	247,983	311,948
減価償却費	101,618	99,019
売上債権の増減額 (△は増加)	△17,183	19,800
たな卸資産の増減額 (△は増加)	76,898	△33,441
仕入債務の増減額 (△は減少)	△122,168	△179,251
その他	△8,688	19,627
小計	278,460	237,704
利息及び配当金の受取額	6,596	5,733
利息の支払額	△13,175	△12,147
法人税等の支払額	△129,537	△123,575
営業活動によるキャッシュ・フロー	142,343	107,714
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△23,290	△6,948
無形固定資産の取得による支出	△900	△5,163
定期預金の預入による支出	△100,000	-
定期預金の払戻による収入	100,000	-
その他	△867	1,036
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,058	△11,076
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	90,000	90,000
長期借入れによる収入	100,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△112,500	△200,000
配当金の支払額	△33,522	△33,559
その他	△22,082	△25,661
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,895	30,779
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	19
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	139,192	127,436
現金及び現金同等物の期首残高	655,530	823,079
現金及び現金同等物の四半期末残高	794,723	950,516

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、臨床検査薬の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。